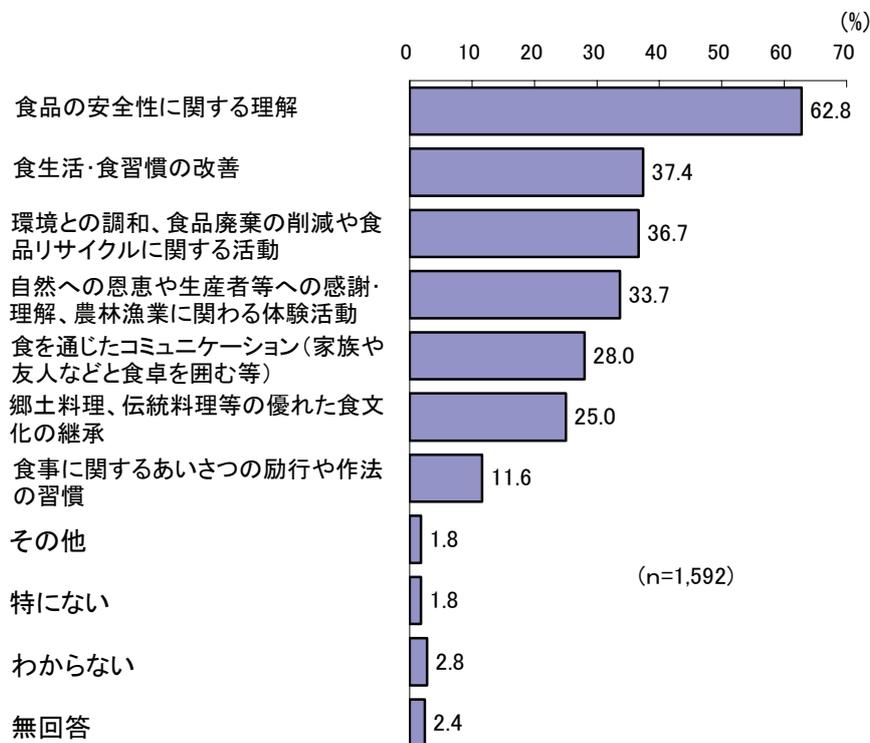


## 8. 食育を支援する人材や場など

- 平成 19 年度に実施した県政に関する世論調査結果では、県民運動としての取り組みで重要なものとして、「食品の安全性に関する理解」と回答した人が 6 割を超え最も多く、食生活改善、環境への配慮、体験活動がそれに続いています。
- 内閣府が実施した意識調査結果と比べると、食育の推進にかかわるボランティア活動に「参加してみたい」と思っている人の割合は全国では 2 割台半ばであるのに対し、千葉県では 4 割で、高い関心を示しています。その活動内容は「生活習慣病予防などのための料理教室」が最も高く約 6 割で、「食品の安全や表示に関する活動」「郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動」「食生活の改善に関する活動」がそれに続いています。
- ちばの食育を学校や地域でサポートする「ちば食育ボランティア」は、募集 3 期目をむかえ、登録人数は 5,000 人を超えており、地域における食育活動を実践しています。
- 自ら食育の推進活動を行ったり、県内の食育活動を支援することで、食育活動の推進に協力する千葉県独自の制度である「ちば食育サポート企業」は募集 3 期目をむかえ、平成 20 年 9 月時点の登録企業数は 123 社となっています。
- 県民一人ひとりの健康や生活状況に応じた健康づくりをサポートするために、メニューの栄養表示や健康に配慮したメニューを提供する「健康ちば協力店」の登録数は 800 店を超えており、地域でのよりよい食環境づくりが期待されます。

図表—81 食育の県民運動としての取り組みで重要なこと(千葉県)

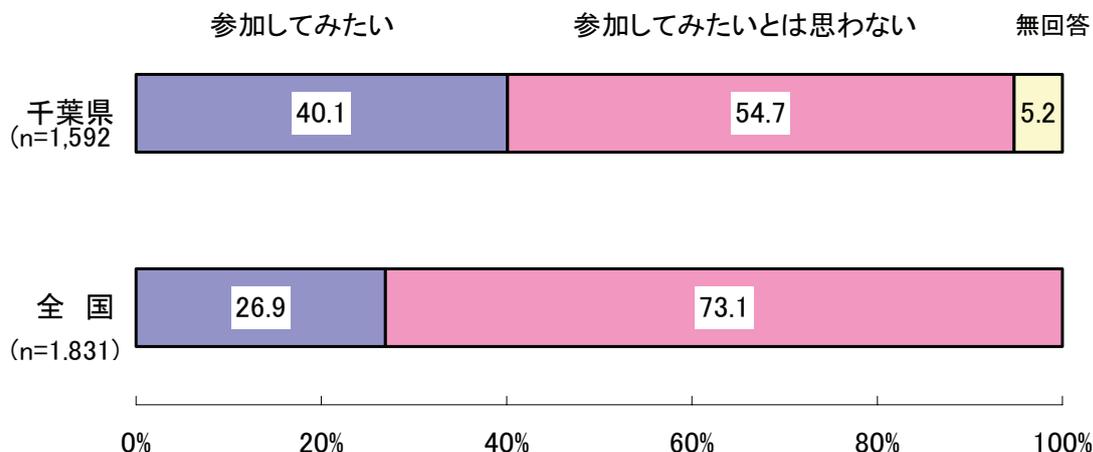


資料：平成 19 年度第 3 5 回県政に関する世論調査の結果(千葉県)

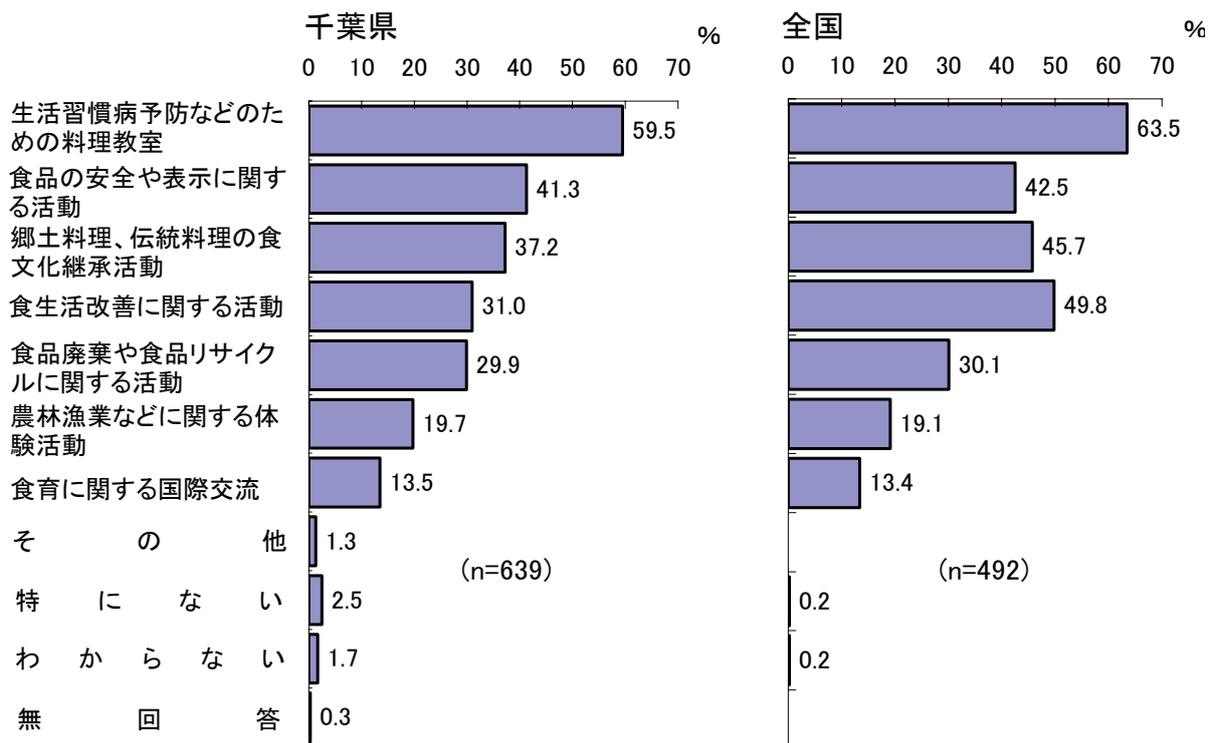
図表—82 食育推進にかかわるボランティア活動への参加に関する調査

※千葉県のデータは「無回答」を含んでいます。

①食育の推進にかかわるボランティア活動への参加意欲



②参加してみたい食育に関するボランティア活動



資料：平成19年度第35回県政に関する世論調査結果(千葉県)  
食育に関する意識調査報告書(平成19年3月：内閣府)  
をもとに作成

図表—83 「ちば食育ボランティア」の登録人数の推移

	登録期間	登録人数
第1期	平成16年1月1日～平成17年3月31日	2,645名
第2期	平成17年4月1日～平成19年3月31日	3,803名
第3期	平成19年4月1日～平成21年3月31日	5,081名

図表—84 「ちば食育ボランティア」の地域別登録人数(第3期)

地域名	登録人数	地域名	登録人数
千葉地域	1,310	山武地域	842
東葛飾地域	465	長生地域	199
印旛地域	188	夷隅地域	713
香取地域	65	安房地域	611
海匝地域	390	君津地域	298

図表—85 「ちば食育ボランティア」分野別登録状況(第3期)

登録分野	食生活改善	千産千消	食品流通加工	農林水産業	農林水産物加工	食料農林水産業情勢	料理	その他	合計
個人登録者	110	22	8	92	23	20	137	24	436
団体登録者	2,200	454	19	487	107	77	2,457	82	5,883
団体数	(27)	(11)	(4)	(19)	(6)	(3)	(40)	(5)	(115)
合計人数	2,310	476	27	579	130	97	2,594	106	6,319

※登録分野については、複数の分野への登録があるために登録者数の合計とは一致しない。

図表—86 「ちば食育サポート企業」の登録企業数の推移

	登録期間	登録企業数
第1期	平成16年2月1日～平成18年3月31日	69社
第2期	平成18年4月1日～平成20年3月31日	101社
第3期	平成20年4月1日～平成22年3月31日	123社

図表—87 健康ちば協力店の登録店舗数

健康ちば協力店の数
836店(平成20年7月2日現在)



## 9. 学校・保育所における取り組み

### (1) 学校における取り組み

- 学校給食における主要な農産物の県産物活用状況で、県産割合が85%を超えています。
- 米飯給食の実施回数は、週平均3.2回で全国平均を上回る高い水準にあります。
- 学校給食で特色ある活動や家庭や地域の連携活動の取組が、多くの小・中学校で行われています。
- 本県の小・中学校における栄養教諭・学校栄養職員の数は、東京都に次いで全国2位で、学校あたりの数で比較すると全国第1位の割合です。
- 県内の小学校で、約7割が学校内に畑を設置しており、1割半ばが学校内に水田を設置しています。

図表—88 学校給食における地場産物の活用状況

		千葉県	全国
食材数ベース	平成17年度	23.0 (%)	23.7 (%)
	平成18年度	23.3 (%)	22.4 (%)

資料：平成17年度学校給食における地場産物の活用状況(文部科学省)  
地場産物の活用に関する調査(食品数ベース)(千葉県、平成18年度)

図表—89 平成18年度千葉県学校給食用食材の生産地別重量別金額別割合(%)

	生産地別割合					
	県産割合		県外割合		外国割合	
	Kg	円	Kg	円	Kg	円
穀類のうち米	99.8	99.8	0.2	0.2	0.0	0.0
穀類計	55.8	60.6	2.8	2.6	41.4	36.8
いも及び澱粉計	23.3	28.4	76.6	71.5	0.1	0.1
緑黄色野菜計	73.9	70.2	25.1	27.7	1.0	2.2
その他野菜計	40.7	35.5	59.2	64.3	0.1	0.2
果実類計	1.4	3.0	91.4	83.4	7.2	13.6
きのこ類計	40.3	13.6	58.7	82.3	1.0	4.1
肉類計	31.7	35.7	65.0	60.7	3.3	3.6
合計	42.2	45.6	42.4	36.2	15.4	18.2

資料：平成18年度千葉県学校給食基本調査  
公立小・中学校において完全給食を実施する県下全調理場のH18.11.9  
～11.30(10給食回分) Kgは重量ベース、円は金額ベースの割合

図表—90 平成 18 年度学校給食における主要な農産物の県産物活用状況(千葉県)

	千葉県産(kg)	県外産(外国産含)(kg)	総使用量(kg)	県産割合(%)
いんげんまめ	1114.3	601.3	1715.6	65.0
パセリ	325.4	50.2	375.6	86.6
だいこん	13270.2	2912.7	16182.9	82.0
かぶ	2292.3	603.5	2895.8	79.2
しょうが	153.8	1209.5	1363.3	11.3
キャベツ	59663.4	7621.7	67285.1	88.7
さといも	8175.5	1757.4	9932.9	82.3
トマト	2377.4	1840.0	4217.4	56.4
にんじん	74881.8	1547.1	76428.9	98.0
ねぎ	21619.2	5542.7	27161.9	79.6
ほうれんそう	23986.5	1525.5	25512.0	94.0
ごぼう	1483.1	7024.5	8507.6	17.4
合 計	209343.0	32236.1	241579.1	86.7

資料：平成 18 年度学校給食における県産農産物活用状況調査（千葉県）

図表—91 平成 18 年度公立学校米飯給食回数別実施状況(千葉県) (校、%)

	学校給食実施校数	完全給食実施校数	完全給食実施校のうち米飯給食実施見込数							
			1回	2回	2.5回	3回	3.5回	4回	5回	計
小学校	854	854	0	3	108	589	60	85	9	854
中学校	382	376	0	0	30	217	35	45	49	376
夜間定時制高校	19	18	0	0	0	0	0	11	7	18
盲・聾・養護学校	30	30	0	0	0	19	6	5	0	30
合 計	1285	1278	0	3	138	825	101	146	65	1278
週平均実施回数(実施率%)		3.2	0.0%	0.2%	10.8%	64.6%	7.9%	11.4%	5.1%	100%

資料：平成 18 年度千葉県学校給食基本調査

図表—92 米飯給食回数別実施状況（児童・生徒数）

区 分	千葉県		全 国	
週 5 回	26,141 ( 5.4%)	424,479 (87.2%)	182,327 ( 1.9%)	7,130,732 (73.4%)
週 4 回	41,572 ( 8.5%)		619,964 ( 6.4%)	
週 3.5 回	38,256 ( 7.9%)		474,366 ( 4.9%)	
週 3 回	318,510 (65.4%)		5,854,075 (60.2%)	
週 2.5 回	61,526 (12.6%)		1,617,004 (16.6%)	
週 2 回	1,007 ( 0.2%)		955,725 ( 9.8%)	
週 1 回以下	0 ( 0.0%)		16,107 ( 0.2%)	
週平均実施回数	3.2 回		2.9 回	

資料：平成 18 年度米飯給食実施状況調査（文部科学省）

平成 18 年度千葉県学校給食基本調査報告

図表—93 学校給食における食器具の使用状況：はしの使用状況（%）

千葉県			全 国	
平成 12 年	平成 15 年	平成 17 年	平成 12 年	平成 15 年
1,142 校(93.0%)	1,158 校(94.1%)	1,184 校(96.3%)	30,152 校(97.0%)	30,061 校(97.9%)

資料：全国「学校給食実施状況調査」 千葉県 「学校給食基本調査」

図表—94 学校給食における特色ある活動総括表（平成 18 年 5 月 1 日現在：千葉県）

		小学校	中学校	合 計	
学校内における活動	交流給食	学年内	107 (12.5%)	3 ( 0.8%)	110 ( 8.9%)
		異学年	235 (27.5%)	2 ( 0.5%)	237 (19.3%)
		全 校	118 (13.8%)	30 ( 8.0%)	148 (12.0%)
	行事給食		357 (41.8%)	74 (19.7%)	431 (38.1%)
	招待給食		99 (11.6%)	4 ( 1.1%)	103 ( 8.4%)
	選択給食		224 (26.2%)	61 (16.2%)	285 (23.2%)
家庭地域の連携	親子給食		81 ( 9.5%)	0 ( 0.0%)	81 ( 6.6%)
	招待給食		118 (13.8%)	20 ( 5.3%)	138 (11.2%)
	試食会		490 (57.4%)	129 (34.3%)	619 (50.3%)
	選択給食		15 ( 1.8%)	41 (10.9%)	56 ( 4.6%)

資料：平成 18 年度千葉県学校給食基本調査

図表—95 栄養教諭・学校栄養職員配置状況（国公立小・中学校）

	栄養教諭・学校栄養職員数(A)	小・中学校数 (B)	(A)人／(B)校
千葉県	722 人	1,238 校	0.58
全 国	10,856 人	32,797 校	0.33

資料：平成 18 年度学校給食実施状況調査（文部科学省）及び  
平成 18 年度学校基本調査（文部科学省）をもとに作成

図表—96 食に関する指導推進のための体制づくり状況（平成 19 年 5 月 1 日現在：千葉県）

	「食に関する指導全体計画を作成してある」	「食に関する指導年間計画」を作成してある	近隣の学校や地域の保健センター、公民館等との食に関する連絡協議会等がある
小学校	46.4%	48.9%	21.1%
中学校	25.3%	37.3%	5.5%
公立特別支援学校	53.3%	53.3%	6.7%
県立夜間定時制高校	5.3%	42.1%	0.0%
合 計	39.7%	45.5%	15.8%

資料：平成 18・19 年度千葉県学校給食基本調査報告

図表—97 学校農園等の設置状況（平成 19 年 5 月 1 日現在：千葉県）

(単位：%)	学校農園が学校内に設置されている						学校農園が学校外に設置されている					
	畑			水田			畑			水田		
	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上	100㎡未満	100～200㎡未満	200㎡以上
小学校	40.2	16.2	10.0	13.2	0.8	0.7	4.3	7.3	9.4	2.8	3.4	8.0
中学校	18.6	2.1	0.8	1.3	0.0	0.5	2.1	0.3	2.1	1.0	0.0	0.8
公立特別支援学校	16.7	10.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	43.3	0.0	0.0	3.3
合 計	33.1	11.8	7.3	9.3	0.6	0.6	3.6	5.1	8.0	2.2	2.3	5.7

- (注) 1 重複回答である。資料：平成 18・19 年度千葉県学校給食基本調査報告  
2 バケツ稲は除く。  
3 借り上げている場合も含む。

○県民を対象に行ったインターネットアンケート調査で、「教育」について、今後、学校・家庭・地域が連携して力を入れるべきことについて聞いたところ、学校については、「集団生活する能力を身につける」、「人間性を育てる」、「学力を高める」、「しつけを教える」の順に高く、「基本的な生活習慣を身につける」は 2 割強、「健全な食生活を身につける」は 1 割弱にとどまっています。

○一方、家庭については、「しつけ」、「基本的な生活習慣」が非常に高く、次いで「健全な食生活」、「人間性」の順となっています。

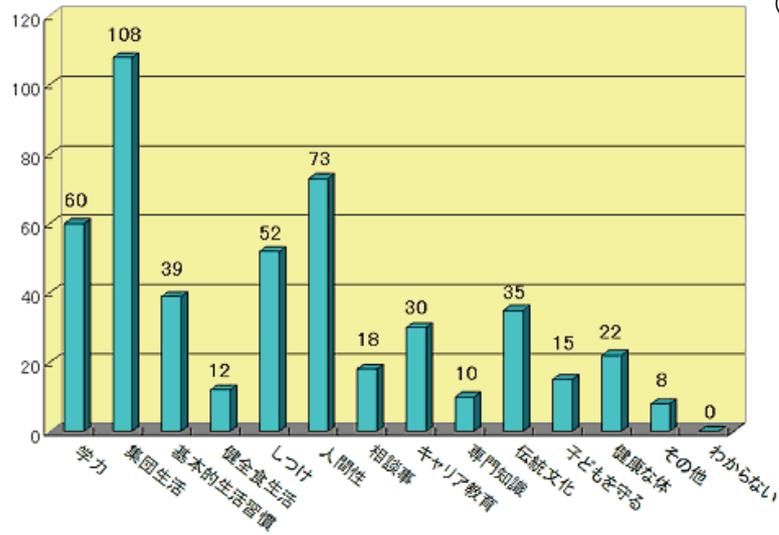
○また、地域については、「体験の場を提供する」が最も高く、次いで「伝統文化を伝え郷土愛を育てる」、「様々な危険から子供を守る」の順となっています。

○基本的な生活習慣や食習慣は主に家庭で身につけ、体験の場の提供などを通じ学校や地域で支援していくものと考えている人が多いと考えられます。

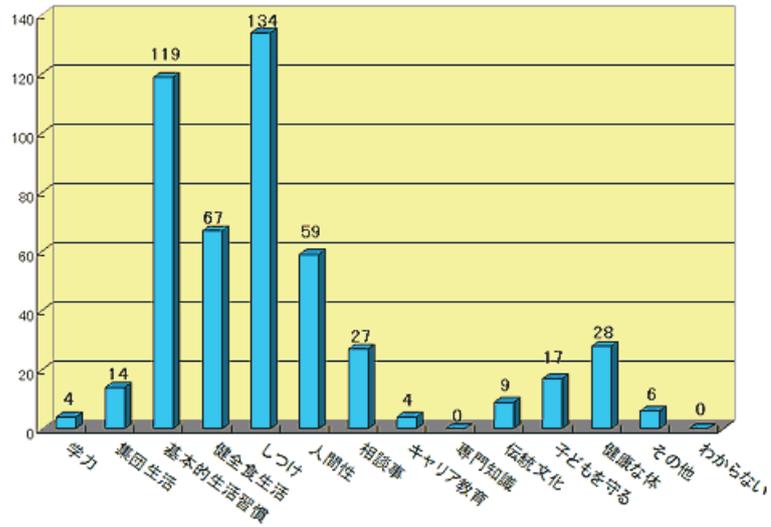
図表—98 学校・家庭・地域が連携していくうえで、特に力を入れるべきこと(千葉県)

(単位：人)

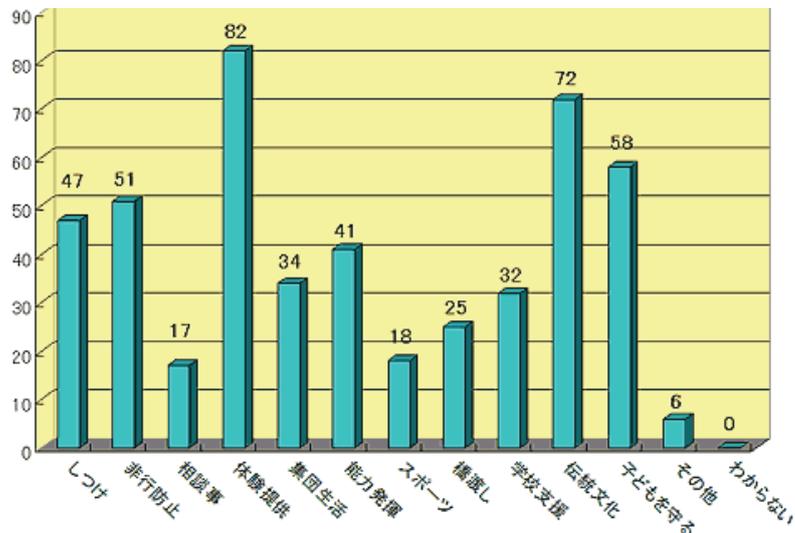
学校について



家庭について



地域について



資料：平成 18 年度第 1 回インターネットアンケート調査結果（千葉県）

回答数：166 人

## (2) 保育所における取り組み

- 保育所における食育への取り組みの状況は、約6割の保育所で食育に関する計画を策定しており、8割の保育所で食育に取り組む体制が整っています。
- 「飼育・栽培体験」や「配膳、片付けの体験」は約9割と高くなっているものの、「調理体験」は6割弱、「伝統的な食事に関する体験」は2割弱にとどまっています。
- 4歳未満の子どもがいる世帯を対象とした調査では、「家庭での食事や生活を通して、子どもが健康的な食習慣を身につけていくことができると思う」と回答した人は約8割。また、そのために家庭とともに取組が必要な機関としては、「保育園・幼稚園」「小・中学校」「保健所・市町村保健センター」の順で高くなっています。
- 家庭での食育の重要性が認識されている一方、乳幼児期は、食育の基礎を育む時期であり、保育所・幼稚園、保健所等の関係機関による支援が期待されています。

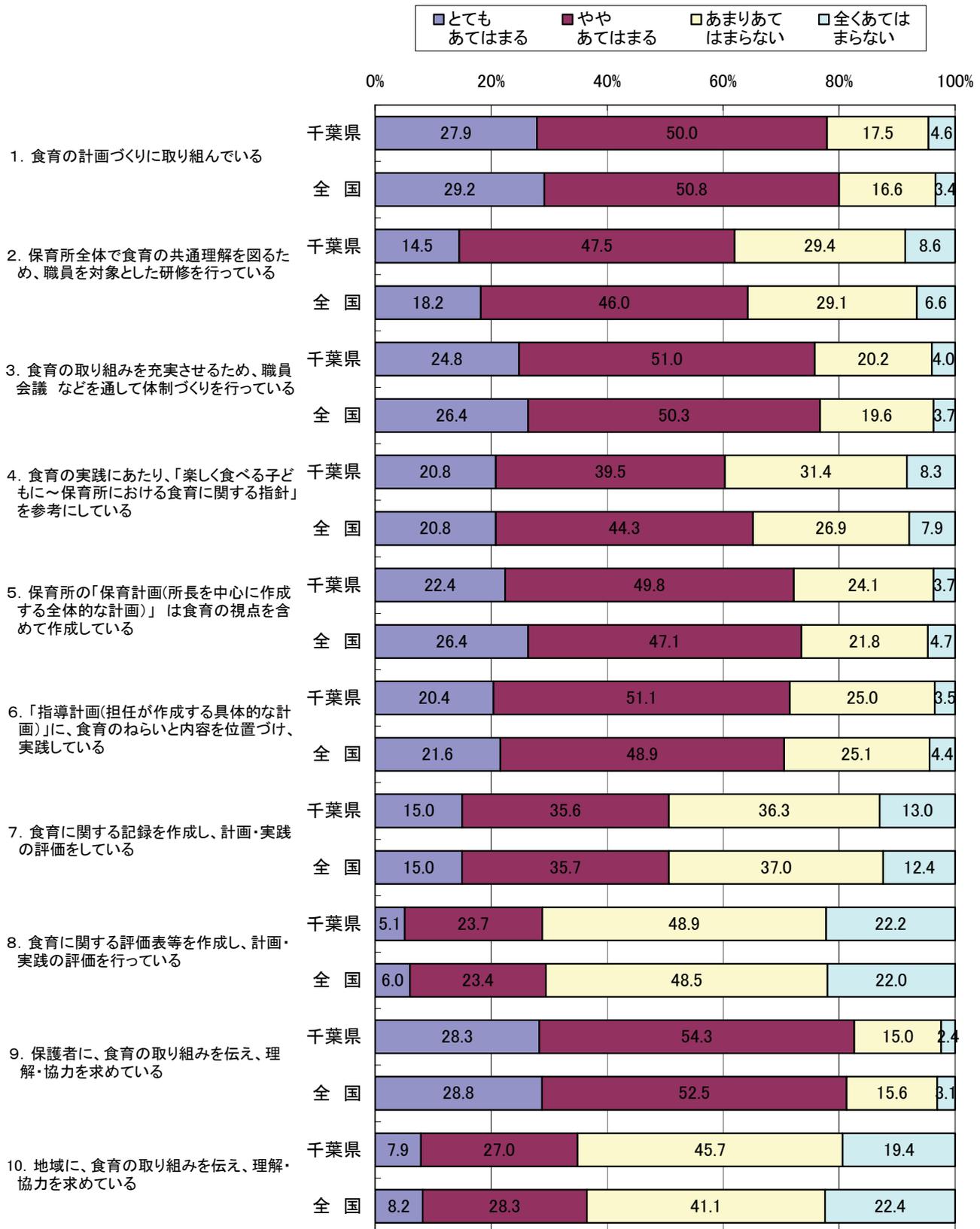
図表—99 保育所における食育に関する調査

(%)

取り組み事項	千葉県	全国
食育に関する計画の策定	59.7	58.7
食育に取り組む体制作り	80.6	81.3
飼育、栽培体験	87.6	86.8
配膳、片付けに関する体験	93.4	90.9
調理体験	56.0	68.4
バランスの取れた食事を味わい食事量を調節	90.3	80.8
地域の伝統的な食事に関する体験	17.5	41.5
保護者に対する食に関する相談や講習会の開催	64.5	63.5
地域の人との会食に関する体験	28.1	44.4
食に関する地域講習会等の開催	34.0	23.3

資料：保育所における食育に関する調査（平成16年：厚生労働省・千葉県）

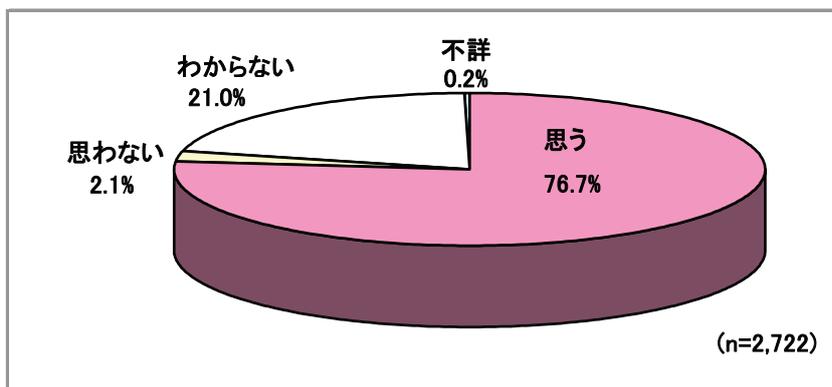
図表—100 保育所における食育の計画づくりへの取り組み状況(平成18年度)



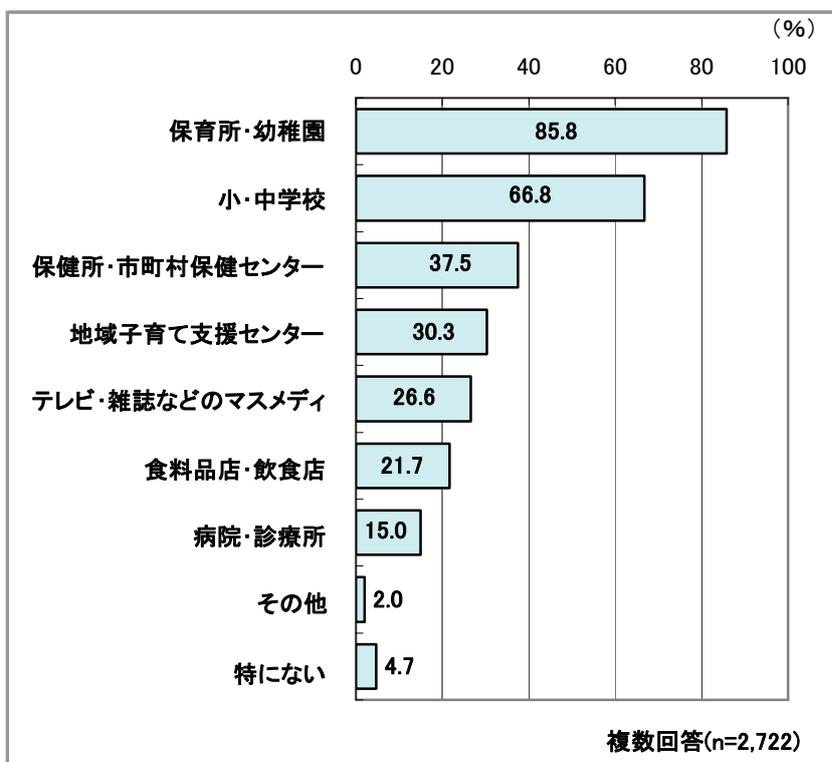
資料：保育所における食育の計画づくりに関する調査（平成18年度：厚生労働省・千葉県）

図表—101 平成 17 年度乳幼児栄養調査における「食育について」の質問(全国)

家庭での食事や生活を通して、子どもが健康的な食習慣を身につけていくことができると思うか



子どもが健康的な食習慣を身につけていくのに取組が必要な機関



資料：平成 17 年度乳幼児栄養調査(厚生労働省)

調査対象：4 歳未満の子どものいる世帯